

いただいたご意見への対応方針 (令和3年度 第2回部会・全体会)

資料1

番号	会 議	意 見 内 容
	(委員名)	
1	第2回育む部会 (村藤委員)	支援が必要な児童、生徒への取組について、学校の努力は理解できるものの、特にICT化は学校間で格差があるように思える。
2	第2回育む部会 (楠委員)	支援が必要な児童、生徒への取組について、不登校や課題のある子どもにとって、オンライン学習があってよかった。また、デバイスは子どもへの支援にも活用出来るのではないか。
3	第2回育む部会 (村藤委員)	支援が必要な児童、生徒への取組について、取りこぼしが無い子育てや教育環境の整備をお願いしたい。
4	第2回育む部会 (楠委員)	子育てや教育に関する情報発信を進めるため、学校の懇談で順番を待っている時等に、保護者に見ていただけるようにポスターや広報紙「さざんか」を教室の前に貼る等、学校と連携した取組ができないか。
5	第2回育む部会 (楠委員)	最近、掲示板には掲示物が少なくスペースが空いているようなので、もっと掲示板を活用して、子育てや教育の情報発信をしてはどうか。
6	第2回育む部会 (筒井委員)	「すみのえ未来塾事業」はキャリア教育の一つとして「起業家教育」をテーマに選んだ事業とのことであるが、「起業家教育」という言葉からは、「実業家育成」を目的した事業であるという誤解を与えやすい。「すみのえ未来塾事業」に限らず、目的を端的に表し、わかりやすい事業名にしていきたい。

※分類
続き検討

①3年度において対応
②4年度運営方針に反映または4年度に対応予定
③3年度では対応できないが、今後引き
④対応困難または対応不可
⑤その他

いただいたご意見への対応方針 (令和3年度 第2回部会・全体会)

資料1

番号	会 議	意 見 内 容
	(委員名)	
7	第2回愛しむ部会 (田貝委員)	地域の取組として紹介されたオンラインラジオ体操に参加したことがあり、とても良かった、もっと多くの方が参加できるよう工夫してはどうか。
8	第2回愛しむ部会 (伊東委員)	子育て応援講習会等で動画を撮影・配信する場合、Wi-Fiが必要となるため、区役所から貸出していただくなど環境の整備をお願いしたい。
9	第2回愛しむ部会 (田貝委員)	スマホ講座等の実施方法として、例えば区内の学生等がボランティアで地域にスマホの使い方等を教えたりできるよう、ボランティア等を受け入れる体制を整えてはどうか。
10	第2回愛しむ部会 (田貝委員)	医療機関等も地域と繋がりたいと思っているので、地域との連携を活性化してほしい。
11	第2回愛しむ部会 (永松委員)	ICTやWebサイト等が分からない方もいるので、そこに向けた情報発信にも配慮してほしい。
12	第2回愛しむ部会 (長谷部会長)	すみのえ情報局は、地域の情報発信に役立つサイトだと思うので、地域活動協議会に伝えて周知してもらってはどうか。
13	第2回愛しむ部会 (藤井委員)	すみのえ情報局について、サイトの二次元バーコードを活用してはどうか。

いただいたご意見への対応方針 (令和3年度 第2回部会・全体会)

資料1

番号	会 議	意 見 内 容
	(委員名)	
14	第2回愛しむ部会 (井上委員)	すみのえ情報局について、地域の掲示板やスーパーの袋詰めコーナー等の区民の目につくところに掲示してはどうか。
15	第2回愛しむ部会 (長谷部会長)	すみのえ情報局について、どのような情報を投稿・閲覧できるのか、事例を示しながら周知すると効果的だと思う。
16	第2回愛しむ部会 (田貝委員)	すみのえ情報局について、リアルタイムな情報を掲載すると、投稿者・閲覧者を増やすことができると思う。例えば、食品を取り扱う店舗の割引情報等をリアルタイムに投稿できれば、消費者側も喜ぶし、フードロスの取組にもつながるのではないかな。
17	第2回愛しむ部会 (井上委員)	すみのえ情報局について、投稿した動画等をリアルタイムに見てもらえるよう、SNS等を活用したお知らせ機能があると嬉しい。
18	第2回愛しむ部会 (山田委員)	すみのえ情報局について、企業等のサイトへの参加や投稿を増やす方法として、積極的に情報発信をしている企業等をピックアップしてはどうか。サイトでの情報発信にメリットを感じると、サイトへの参加や投稿が増えて活性化につながると思う。
19	第2回愛しむ部会 (井上委員)	区の目標にある「住之江区で暮らし、学び、働くすべての人」の中に、LGBTQの方も忘れずに組み込んでほしい。
20	第2回愛しむ部会 (藤井委員)	各取組の指標となる数字に母数を示すなど、取組の規模感がわかるようにしてはどうか。
21	第2回愛しむ部会	SDGsゴールを施策ごとに示すなど、わかりやすく発信してほしい。

いただいたご意見への対応方針 (令和3年度 第2回部会・全体会)

資料1

番号	会 議	意 見 内 容
	(委員名)	
22	第2回備える部会 岡田委員	マンションごと、駅ごとに津波高さの表示があると防災への意識づけになるのでは。
23	第2回備える部会 森本部長	防災に関する取組を浸透させるには、直接耳に入る働きかけに取り組むべき。
24	第2回備える部会 岡田委員	防災備蓄物資の必要な量的目安がほしい。
25	第2回備える部会 竹内委員	地域が危機感を持てるような情報を行政がもっと出すべき。
26	第2回備える部会 實委員	地震発生時に道路の瓦礫で災害救助活動が阻害されないような取組を行ってほしい。
27	第2回備える部会 中林委員	道路の路面標示や規制標識の不具合を地域が把握した場合、その是正に向けて協力いただきたい。

いただいたご意見への対応方針 (令和3年度 第2回部会・全体会)

資料1

番号	会 議	意 見 内 容
	(委員名)	
28	第2回全体会 (土井委員)	道路の路面表示や規制標識の不具合が街頭犯罪抑止にどうつながるのか。
29	第2回全体会 (土井委員)	不審者に遭遇した場合は、110番のみでいいのか、区役所として対応するためのマニュアルはあるのか、被害を広げないためにどのようにすべきか考えあれば教えてほしい。
30	第2回全体会 (土井委員)	問題が発生して、警察から区役所に安まちメールが届き、青パトがパトロールするまでにどの程度の時間がかかるのか。
31	第2回全体会 (楠部会長)	学校に警察の方に来てもらい、道路標識や交通ルール等を子どもに教える機会を設けてもらえればと思う。
32	第2回全体会 (竹内委員)	色々な取組で情報発信を進めるとなっているが、犯罪など何か問題が起きたときに、住民に伝わる、住民が動けるような今より具体的な情報発信に力を入れてもらいたい。
33	第2回全体会 (實委員)	区役所また住之江公園駅の近くに区民センターを建設してほしい。
34	第2回全体会 (實委員)	大阪は学力テスト・体力テストともに全国的にみても下位となっている。 体力面の向上にむけ、陸上競技連盟の指導員に学校まで来てもらい、子どもたちに運動の楽しさを感じてもらえるような取り組みを進めてほしい。

いただいたご意見への対応方針 (令和3年度 第2回部会・全体会)

資料1

番号	会 議	意 見 内 容
	(委員名)	
35	その他 (田貝委員)	「住之江区おおきにプロジェクト」について、もっと広く住民に知らせてはどうでしょうか？堺市東区では、「「ありがとう」の輪を広げよう事業」を、平成24年からスタートし、小・中学校や地域でも取組み、思いやりや感謝の気持ちがあふれるまちづくりを進めているようです。
36	その他 (田貝委員)	中断している在宅医療介護連携推進協議会について、専門家同士のつながりを深め、住み慣れた地域で最後まで暮らせるように早い時期に再開してほしい。
37	その他 (田貝委員)	ボランティア活動に、子どもの頃から参加できる体制を作ってもらいたい。
38	その他 (實委員)	生野区の実証実験を参考にコミュニティバスの再開を検討してもらいたい。
39	その他 (竹内委員)	地活協の自律的な運営を期待されているようですが、現状をどう評価していて、今後、自律するために区役所としてどう取り組んでいくのかを具体的に示してもらいたい。
40	その他 (竹内委員)	運営方針の進捗状況と今後の方向性について、全般的に連携・地域・住民・目助・近助ということがポイントになっているようで、住民の役割に期待されていると感じる。ただ、何をどうしたらいいのかという具体的な行動のイメージがわからない。 原因としては、それぞれのテーマに関する客観的なデータに基づく情報がないからではないかを感じる。区全体のデータはあっても、14地域ごとのデータがないから、住民としても自分事にならない。 例えば高齢化率や災害時の浸水深は地域によって違い、犯罪の内容も地域によって違いがあると思う。そういったデータがあれば、効果的な対応ができるのではないかと思う。 住民の肌感覚の意見というか「感じ」も大事だが、やはりデータに基づく客観的な視点も大事であり、住民が自分事になるような情報提供の仕方が大事だと思う。

いただいたご意見への対応方針 (令和3年度 第2回部会・全体会)

資料1

番号	会 議	意 見 内 容
	(委員名)	
41	その他 (竹内委員)	今後の方向性からは、住民や連携といったソフト面の記載が目立つが、最近は、すみよいまちを作るためには、ユニバーサルデザインが大切と言われている。段差のない道路、エレベーターの整備等ハード面、インフラ整備も必要だと思う。地域のコミュニティが活動するにはその場所も必要で、現在の福祉会館で十分かどうか、住民が集まりやすく活動しやすい場所か、そういった観点からも行政としてすべきことがあると思う。
42	その他 (竹内委員)	担当課を超えた連携として、住民の健康向上のために国民健康保険の保健事業と連携することはできないか？
43	その他 (岡田委員)	令和4年度住之江区運営方針(素案)について、区の目標に人口(特に生産年齢人口)を増加する目標が必要ではないでしょうか。現在は共働きの家庭が多く共働きの環境づくり(保育園・学童保育)をすることにより若い世代の人口増加を見込めるのでは。人間関係の希薄化やイベントの参加等は子どもの人口減も影響しているのではと思っています。子どもの人口を増やす取り組みを検討してはと思います。
44	その他 (岡田委員)	令和4年度住之江区運営方針(素案)の安全・安心なまちづくりについて、昼間には若い世代の人口が減少し、災害時の自主防災活動ができないと思われるため、中高生・大学生の力を借りるような仕組み作りが必要であると思います。防災の人材育成も、中高生・大学生に目を向ける必要があるのではないのでしょうか。
45	その他 (岡田委員)	令和4年度住之江区運営方針(素案)の業務改革の推進について、簡素化は必要だと思うが、効率化を進めることについては疑問がある。非効率だとは思いますが、地域に出向き、直接住民の声を聴くことが必要だと思う。